



JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

コロナ 検査キット 献金を別使途に流用

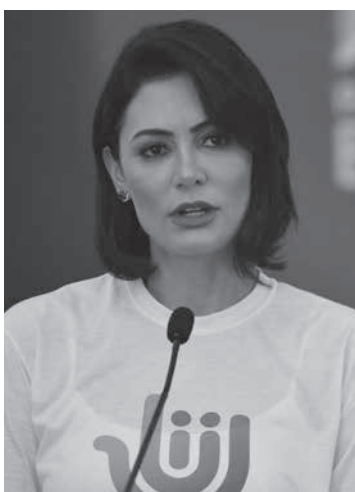
マルフリダからの750万レ

大統領夫人から人権相の団体に

新型コロナウイルスの簡易検査を購入することを目的とした750万レアルの献金が、連邦政府により、大統領夫人が代表を務める政府プログラムに回され、入札なしに人権相と関連の深いボランテニア団体に振り込まれて別使途で使われるなどの、釈然としない資金の流れがあったことが判明した。1日付フォーリヤ紙が報じている。

同社同意だが釈然としない流れ

フォーリヤ紙が報じたのは元々は食肉大手のマルフリダによると、この金1フリダが、3月23日に



ミシェル大統領夫人 (Marcello Casal/Agencia Brasil)

発表した、保健省に対する献金(寄付)だったという。同社は当初、その金をコロナウイルスの簡易検査10万セット分の購入に役立ててほしいと考

えていたという。その当時は、伯国でコロナの感染爆発がはじまった頃で、3月21日に感染者が1千人を超えたこと発表されたばかりだった。マルフリダ社は5月20日、そのことを裏付けるように、フォーリヤ紙が9月

30日付で報じたところによると、その金はミシェルのブログから入札も行われないうままに、ダマスカス・アウヴェス人権相とつながりの強い福音派の宣教会にまわされ、セスタ・バジカの購入や配布のために使われたという。マルフリダによると、ルイス・エンリケ・マンデッ

タ保健康(当時)が3月22日に検査キット購入のための民間支援を求めた意向を表明したため、3月23日に寄付を行った意向を発表した。この時も、「他の民間企業が協力をすることを期待している」と語っていた。大統領府は5月20日に送ってきた報告で、同社からの献金は、ブラジルの資金運用を担当するブラジル銀行財団の口座に入金され、新型コロナウイルスの検査購入と適用にあてられると約束していたという。

同社は数日後、大統領府が指定した口座に献金を振り込んだが、7月になって、用途変更が告げられた。マルフリダは、経済的な基盤がなく、コロナ禍で苦しんでいる人たちに支援するための説明を受け、用途変更に同意したという。

パトリアは昨年7月に大統領令で創設された大統領府社会通信局による広告活動に公費約900万レアルを費やしている。パトリアは4月以降、1090万レアルを受け取っており、マルフリダの献金750万レアルは全資金の70%近くを占める。提供された資金をどんな人権、人権省、地域開発省、科学技術省、大統領府の代表からなる連帯審議会が決められる。アレカダソンの活動で献金を受け取った団体

の1つは、ダマレス氏が2006年に創設したAMTBで、ダマレス氏は2015年まで同団体で活動していた。AMTBやその関連団体が受けた金額は64万レアルあまりで、それ以外の金額の用途は明らかにされていない。フォーリヤ紙はこの件について大統領府にたずねてみたが、返答は得られていない。

地理統計院(IBGE)が1日、昨年の穀物やマメ科食物、油糧種子の生産量は前年比で6.8%増の2億4330万トンと発表した。大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

ボルソナロ 国連でバイデン氏を批判 「アマゾン破壊」発言に猛反発

9月29日に行われた米大統領選の公開討論会で、バイデン候補が法定アマゾンに言及した事を受け、ボルソナロ大統領が9月30日、「同候補は伯国との共存を諦めず、強い口調で抗議した」と、強い口調で抗議したと9月30日、10月1日付伯字紙、サイトが報じた。

うとしていない」「各国に呼びかけて200億ドルの基金を作り、破壊を止めるよう勧める」などと発言。アマゾンの破壊が止まらない場合は経済制裁も考えている事を示唆する発言もあった。

これを受け、ボルソナロ大統領は9月30日の国連首脳会議で、「伯国の主権」に関わる事と主張。バイデン氏の声明は「悲惨な放言」で「心のこもった実りある共存を諦める事を明確に示して

いる」と批判した。ボルソナロ大統領は、生態系を守りながら経済発展を目指すとの意向も強調。国際社会から批判を浴びている法定アマゾンやパンタナルの森林伐採や火災については、何の証拠もなく、「複数の非政府団体の協力を得た組織が環境犯罪を指揮している」と発言した。大統領は国連総会の開演演説でも、「伯国はアマゾンやパンタナルに関する情報不足という残忍な

なキャンペーンの犠牲者だ」と強調した。だが、主張を裏付けるデータは提示されていない。9月30日は、「アマゾンでは、ヴェルデ・ブラジル2作戦」を展開中。近年の森林伐採増加傾向も変わるはず」とも語ったが、伯国や他国で環境犯罪を行っている組織が何者かや、その存在を突き止めた経緯には何も言及していない。法定アマゾンの火災の71%は農業従事者の所

有地で起きていた事や欧州連合(EU)に輸出されていく大豆や肉は最大20%までが不法採地

からのものである事は、諸機関からの報告が出ているが、ボルソナロ大統領は、今も、森林伐採や火災の責任を先住民や知事、環境活動家などになすりつけている。なお、国立宇宙研究所(Inpe)は1日、9月のパンタナルでの火災件数は8106件で、今年累計件数は1万8259件と発表した。今年の累積は、同所が観測を始めた1998年以降で最悪だった2005年の年間件数1万2536件を46%上回っている。法定アマゾンでの9月の火災件数は3万2017件で、昨年

同月比で61%増えた。今年の累積火災件数は7万6030件で、昨年同期を14%上回っている。また、過去6年間で最多だった2017年同様の7万892件も超えている。連邦政府はInpeのデータは改ざんされているというが、9月29日にはリオ連邦大学が、1月9月27日のパンタナルの焼失面積は3461ヘクタール、昨年同期の1222%増とデータを発表した。また、大統領はパンタナルの火災は干ばつや高温が原因としたが、南大河州の大規模火災に関する連警の捜査によれば火元は農場で、自然災害とは言い難い状況だ。

カシオ氏は第1連邦地域裁判(TRF1)の判事として、年齢は48歳だ。ピアウイ州テレジナナ出身で、2011年からTRF1の判事を務めている。大統領は福音派の判事を指名すると予想されていたが、カシオ氏はカトリックで、保守派判事のイメージではあるものの、特にボルソナロ派という印象も持たれていなかった。カシオ氏の名は、最高裁判事には大方受けが良いと報じられているが、ルイス・フクス長官は、高等裁判(STJ)を経ず、TRFから飛びこしの昇進となることで、技術的な不安を感じているという。だが、このボルソナロ氏の意向に対し、同氏の側近や支持者からは強い反対の声が起きている。カシオ氏は、最高裁内で保守派が不利な状況で打破できないとして、ワックチンと連絡を取り、取り下げるよう直訴する人たちが少なくないという。

ジョアン・ドリリア聖州知事は9月30日に記者会見を開き、うまくいけば12月15日に新型コロナウイルスの新型ワクチン接種が始まる可能性があることと語った。1日付伯字紙が報じている。対象となるワックチン市は中国の製薬会社「シノヴァック」のコロナワクチンで、現在は、聖市などで1万3千人を対象に、最終段階の治験が行われている。治験期間は10月15日までだが、ドリリア知事は「結果には自信がある」と語り、国家衛生監督庁(ANVISA)の

認可が下れば、早い場合12月15日からのワックチン接種が可能だとした。同知事は同日、年内に4600万回分のワクチンを供給するとの契約を書にサインをした。同知事によると、最初の600万回分は、最初から届けられるが、残り4千万回分のワクチンには、中国からの技術移転を受け、聖市のワックチン市研究所で生産される見込みだ。

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す



ボルソナロ大統領 (Marcelo Camargo/Agencia Brasil)

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ボルソナロ 新最高裁判事候補に反対の声

意外なまでに穏健な人選に

ボルソナロ大統領が最高裁判事に考えている候補が、大統領府支持派から批判を浴びる事態が起きていた。1日付伯字紙が報じている。ボルソナロ大統領はすでに最高裁判事に

カシオ・ヌネス氏 (Twitter)

カシオ・ヌネス氏 (Twitter)

カシオ・ヌネス氏 (Twitter)

カシオ・ヌネス氏 (Twitter)

カシオ・ヌネス氏 (Twitter)

農産物の生産額で新記録

19年は3610億レアル

注目されるのは、昨年の収量は前年比で22.8%増の1億110万トンに達したトウモロコシだ。棉の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

パンタナルの火災は新記録

有地で起きていた事や欧州連合(EU)に輸出されていく大豆や肉は最大20%までが不法採地

からのものである事は、諸機関からの報告が出ているが、ボルソナロ大統領は、今も、森林伐採や火災の責任を先住民や知事、環境活動家などになすりつけている。なお、国立宇宙研究所(Inpe)は1日、9月のパンタナルでの火災件数は8106件で、今年累計件数は1万8259件と発表した。今年の累積は、同所が観測を始めた1998年以降で最悪だった2005年の年間件数1万2536件を46%上回っている。法定アマゾンでの9月の火災件数は3万2017件で、昨年

同月比で61%増えた。今年の累積火災件数は7万6030件で、昨年同期を14%上回っている。また、過去6年間で最多だった2017年同様の7万892件も超えている。連邦政府はInpeのデータは改ざんされているというが、9月29日にはリオ連邦大学が、1月9月27日のパンタナルの焼失面積は3461ヘクタール、昨年同期の1222%増とデータを発表した。また、大統領はパンタナルの火災は干ばつや高温が原因としたが、南大河州の大規模火災に関する連警の捜査によれば火元は農場で、自然災害とは言い難い状況だ。

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

ワックチン、早ければ12月 ドリリア知事が見解を示す

東西南北

1日のネットは、新型コロナウイルスの献金がミシェレ大統領夫人のブログに回されてきたという報道が沸いた。これで「ミシェレ」のあだ名が再び盛り上がりつつある。このあだ名は、同夫人がラシャジニ二ヶ疑念の渦中にあるラ

プリシオ・ケイロス容疑者から謎の小切手(シエツキ)を受け取っていた疑惑からついたもので、疑って回るあだ名になりそうなくも。

昨日付で報じた、アルゼンチンの漫画「マファルダ」作者のキノが亡くなったことを受け、「トウモロコシ」の作者マウリダ・モントゥワが追悼コメントを寄せた。マウ

リシオは「モニカとマファルダは同じ1963年に生まれた。彼女たちは南米の姉妹なんだ」と、しばしば、友達である姿が描かれていた2人について語った。そして「キノはこれからも私たちの中で、より大きな存在になろう」と、南米漫画界の立役者の功績をたたえた。

9月30日のサッカー

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

大豆は栽培面積が3.2%増えたが、パラナ州と聖州、南麻州が天候に恵まれず、収量は3.1%減った。それでも、昨年の収量は史上3位だ。栽培面積は8120万ヘクタールで、前年より3.3%増えた。特に目立つのは、トウモロコシの120万ヘクタール増と大豆の110万ヘクタール増。収穫面積は前年比3.5%増の8060万ヘクタールだった。主要産物の大豆は生産額全体の34.8%、サトウキビは15.2%、トウモロコシは13.2%、カフェは4.9%を占めた。大豆の生産額は前年比1.8%減の1256億レアル、サトウキビは5.4%減の547億レアル、トウモロコシは26.3%増の476億レアル、カフェは22%減の176億レアルだった。カフェの収量は300万トンで、前年より15.3%減った。地域別生産額は、前年比12.2%増の中西部が1079億レアルで、ロソ州筆頭はマツト・ゲロソ州の584億レアルだ。北東部は424億レアル(筆頭はバイア州の193億レアル)、以下同、北部は97.6億レアル(パラ州108億レアル)、南東部は97.6億レアル(聖州55億レアル)、南部は91.6億レアル(南大河408億レアル)だった。

緊急時の連絡先
サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」
サンタクルス病院
万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト

ヤノマミ族 700人以上がコロナ感染 「我々は見捨てられている」

adolescente Yanomami, Alvinei Xirixana, que tinha apenas 15 anos. Ele vivia na região do município de Alto Alegre, ao norte de Roraima.



先住民初の犠牲者となったシリヤナ君(23日付G1サイトの記事の一部)

それによると、9月22日現在の感染者は709人で、死者も7人出ている。コミュニティ毎の死者数は、マトウラカ12人、ウラリコエラ、スルク、アピアウ、マリマラウイア各1人だ。ヤノミ族先住民保健区審議会(Gondistiy)議長によると、連邦政府はヤノミ族の居住地で必要とされる医療従事者や医薬品を運ぶための航空機の契約さえ結んでおらず、「自分達を見捨てている」という。同氏によると、ヤノミ族の居住地で働く医療従事者は先住民1千人につき看護士1人のみで、Dseiも具体的な仕事がない状態だ。保健省は「複数省庁が合同で現地を訪れ、支援をした」と答えた。だが、この訪問は、ロライマ州民の同意

アマゾン州 観光関連は66%の減収 集客復活キャンペーンを開始

アマゾン州連邦大学とアマゾン州観光公社が行った調査によると、同州では観光に関連した業種の収益が66%も減少したという。同州での観光収益の減少は2月から見られてきたが、国内でコロナ感染が広がったこと、社会的距離などの必要が言われ始めた3月からはその傾向がより顕著になった。新型コロナウイルス感染症(Covid-19)が観光業にもたらした影響を調べる調査では、収益が減ったと感じた業者が2月には30.3%、3月には54.6%いた。アマゾン州観光公社によると、3月の観光客は前年同月比で60%減った。観光客の減少は、観光客の宿泊料金の支払いが50%、サービスの契約が53%減少された。観光客の減少により、観光関連の業界全体では66%、旅行会社では72%、宿泊業者では70%各々、収益が減ったという。アマゾン州観光公社は、観光客の回復を促すため、69の観光客を支援する「アマゾン州観光公社」を設立。諸機関からの資金



ホットな話題をZÉZÉ LUIS

マナウスで集団免疫が出来た? 献血者の血液分析から推定

伯国北部アマゾン州マナウス市で行われた調査で、同市では既に新型コロナウイルスに対する集団免疫が出来ている可能性がある事を示唆する結果が出た。注目の調査結果は9月21日にオンライン上で発表されたが、専門家などによる検証を受ける必要があり、科学雑誌にはまだ掲載されていない。サンパウロ総合大学(USP)医学部が聖州調査研究支援機関の支援を受けて行った調査は、

マナウス市の血液銀行でサンプルを集めて分析するという形で進められ、最低44%、最大66%の人が新型コロナウイルスの抗体を持っている事がわかった。マナウス市は5月頃に感染爆発が起きて医療崩壊も発生。病院の廊下に一時保管された遺体や、遺体を一時保管するために病院に横付けされた冷凍車、埋葬者が多すぎ、棺を重ねて埋葬して遺族から苦情が出て葬儀崩壊などの衝撃的な報道も続いていた。



ピーク時のマナウス市内の墓地(22日付G1サイトの記事の一部)

同省によると、医療従事者は小児科や婦人科、感染病科で計253件の診察を行い、超音波検査も10件行っている。看護師による問診や新型コロナウイルス検査、投薬は598件行われ、新型コロナウイルスの検査は皆、陰性だったという。さらに、ヤノミ族Dseiには個人用保護具や新型コロナウイルスの簡易テストなどの医療資材

国内の先住民初のコロナの犠牲者はロライマ州北部アウト・アレグレに住んでいたヤノミ族のナ君(15)で、小型機で州都まで運ばれたが、集中治療室で1週間治療後の4月9日に亡くなった。ヤノミ族Dseiでは330人が既に回復したと見ている。(9月23日付G1サイトより、9月29日掲載)

た上に、予約済みのパットのキャンセルなどで、3/5月は宿泊客が皆無となり、6万4千レアルの損失が出た。昨年同期の収益は5万1千レアルだった。プリット氏は、「川沿いに住む企業家として、これほどひどい経験は初めてだ」とい。スボーツもできる宿泊施設があるウタマンの持続可能開発保護区(RDS)では、予約キャンセルで200万レアルの損失が出た。ネグロ川のRDSでは、木材や繊維、石など、アマゾンの森林で入手できる材料を使った手工芸品の売上が減り、3/5月だけで少なくとも8500レアルの減収となった。

野は小規模または零細な企業が多い上、国内外からの観光客への依存度が高い。経済的な影響は、宿泊施設が多いネグロ川下流など、複数の地域で確認された。宿泊施設を運営するロベルト・プリット氏の場合同様、予約が入らなくな

史や施設まで道の順を紹介するフィルムも公表した。このキャンピングカーは、アマゾン州やブラジルに住む人々にアマゾンの自然や文化を体験させるための施設を支援する。マナウスの夏も始まり、各々の宿泊施設の歴史や、各地域の必要に応じて用いられる。9月には、地元の観光業の業績回復を支援するためのキャンペーン「アマゾンの夏」も始まり、各々の宿泊施設の歴史や、各地域の必要に応じて用いられる。

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

フラメンゴ 感染者続出であわや試合中止 問われるサッカー大会進行と衛生対策



無症状だが、コロナ感染で自宅隔離を強いられるフラメンゴのドメネク・トレント監督 (Alexandre Vidal/Flamengo)

新型コロナウイルスの感染拡大のペースが鈍ってきたのは、人々が感染拡大を怖れて社会的距離を強化した事などを反映している。抗体を持つ人が増える事で集団免疫に近い状態が生じ、新たな感染が起りにくくなった可能性もあると見られている。マナウス市やアマゾン州はピーク時に一気に死亡率が高まった。アマゾン州の場合、4月末の死亡率は100万人あたり103人だった。5月末は4.8倍の495人に。当時は医療機関で対応しきれず、自宅で亡くなる人も出たが、その後は急速に感染者が増加するペースが鈍くなった。この事も集団免疫が出来た可能性を示唆すると見られている。調査用サンプルは血液銀行で献血をした人のもので、住民全体のパーセンテージと同じと

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

全空港で外国人客 受入許可 陸路と水路では制限を継続

連邦政府が9月24日に号外版の官報を発行し、国内全空港で国外からの乗客の受け入れを認めると報じた。空の便を使った外国人の入国受け入れは国籍やパスポートの有無、ワクチン接種の有無、健康状態などによって異なる。8月の見直しでは規制が続いていたが、ゴイアス、南麻、南大河、ロライマ、ロライマ、トカ

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)



水位低下で不審沈没車15台も発見

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

伯国中西部が50年に1度の干ばつと言われ、ブラジリアでは雨が降った後も湿度が100%と引き揚げる作業も始まった。市警によると、こんな状況は、雨不足が原因で不明で、車盗難などの届け出も少ない。9月25日は午前中に7台が引き上げられ、現場で簡単なチェックを行った後に回収車両などを保管する車庫に運ばれた。全ての車の引き上げが終了する日はまだ定かでない。9月28日までに13台とバイク1台の引き揚げが終わった。市警は車庫に回収後、所有者などを特定する作業を行っている。9月25日に回収された車の内、3台は既に保険会社によって保険の対象になっていない事が確認されている。問題の採石場は地域にある民間のセメント会社の所有地だ。市役所によると、2012年に潜水夫2人が池の中から遺体が発見されるという事件が起きて以来、裁判所によって現場へのアクセスが禁止されていたという。(9月14、16、25、28日付G1サイトより、9月29日掲載)

120周年迎えた中国人移民

8月15日に内輪での晩餐会

新型コロナウイルスの感染拡大により、日本祭りのようにキャンセルされたり延期されたりしたイベントが今年はたくさんある。規模が縮小したと思われる行事の中には、中国人移民120周年を記念するイベントがある。

伯国に最初の中国人移民が到着したのは、1900年8月15日とされている。リスボンからの蒸気船マランジェ号で来た中国人移民達は、セントス港に到着後、カフエの栽培に従事するために、聖州内陸部に赴いた。聖州モオツカ区の移民博物館の資料によると、最初の移民は119人で、全員が20〜40歳の独身男性だったという。ただ、公式記録にないものも少なくない。

その頃の中国や中国人のイメージはあまり良くものではなかったらしく、1893年に中国を訪れたラドリオ男爵ことジョゼ・ダ・コスタ・アゼヴェド氏は、当時のフロリアノ・ペイショット大統領に宛てた文書で、中国人移民は「モラルが低い」と記している。

当時の伯人達が抱いたイメージは、衛生観念の違いなども反映した偏見のものだった。この偏見

が躍進著しい中国の始に及んだという。中国人移民や中国に対する中傷の中には、元教育相のアブラアン・ウエイントラウブ氏によるツイートのように、関係者からのもも含まれている。だが、ロウ氏は「人種差別的な態度が随所で見られた。中国人移民に対する偏見を打ち破るために設けられた中伯社会文化研究所(Brachina)は、新型コロナウイルスにまつわるフェイクニュースに対処するための部署を創設し、苦情を受け付けている。所長のトマス・ロウ氏によると、他のアジア諸国からの移民やその子孫らが同研究所に送った苦情のeメールは数千件に上った。世界各国内の代表だ。今年第15回目を迎えた聖州リベルダーデ区での旧正月の行事はその代表だ。

新型コロナウイルスの感染拡大や伯国内でも疑似感染者が出始めた事などで、例年より規模は小さかったが、旧正月は既に聖市の恒例行事として定着している。

8月15日が「中国人移民の日」に認定されたのは2018年で、今年が3回目。当日は、聖州アウト・ダ・ボア・ヴィスタ区のレストラン「China Lake」で中国人移民120周年を祝う晩餐会が開かれた。

晩餐会には、中伯社会文化研究所所長でブラジル弁護士会(OAB)中伯関係国内コーディネーターでもあるロウ氏、貿易関係連邦議員団代表のエヴァイル・デ・メロ



120周年記念の晩餐会で(左から、バロス氏、アナナシス・ロウ氏、ミニニ氏、Duvigação)



8月14日付電子版フォーリャ紙の記事の一部

リシラ・ミンソン氏が参加した。晩餐会では、画家のオルランド・シケット氏が2016年に中国の広東省広州市で発表した作品が120周年の象徴として紹介され、シケット氏への顕彰の時も持たされた。

伯国と中国との関係は移民申請者数の増加でも明らかだ。2000年以降の申請者数は、01〜07年こそ2千人を割り込んだが、2008年2181人、08年2059人の後、09年に



8歳で移住したルーベンス・シヤング・チュング・リン氏(8月14日付電子版フォーリャ紙の記事の一部)

7039人を記録。10年は2301人に減ったが、11年以降は再び増加。今年はまだ492人のみだが、11〜19年は年平均で4397人が移民申請を行っている。多くの中国人移民が、手工芸品の製作や輸入品販売、大衆シヨッピンなどの商業活動に関わっている事は周知の事実だ。また、2009年以降、中国は伯国にとって最大の貿易相手国となつている。

ポウソナ口政権では、米中の貿易戦争などを反映し、トランプ米大統領を尊敬するポウソナ口大

議、聖州の文化とビジネス統合センター所長のレジーナ・バロス氏、中伯商工開発会議所副会長のプ

統領の意向を汲んだ閣僚や議員から中国を擁護したりする発言が飛び出し、物議を醸してきた。だが、クリスチナ農務相が地道な外交を継続している事もあり、中国への農産物輸出などけん引された農業は、新型コロナウイルスの感染拡大で景気後退期に入った第2・四半期も、唯一国内総生産(GDP)を増加させた。

新型コロナウイルスの感染拡大も農産物やその加工品の生産や輸出が堅調かつ成長している事だ。8月9日付フォーリャ紙などでも報じられている。

中でも、他国に先駆けてGDPが回復し始めた農産物などを積極的に輸入、在庫の確保まで目指している中国は、伯国貿易において非常に重要な役割を果たしている。

7月27日エスタード紙によると、1〜6月の伯国の輸出総額1017億ドルの内、約3分の1にあたる33.8%は中国への輸出が占めた。2001年の場合、中国への輸出は1.9%を占めるのみだったが、20



指名手配容疑者の現在を予測した特設サイト「TEHA」の画面(「TEHA」プロジェクト提供)

「乏しい」ほとんどない人が45.1%、DVなしは29.7%にとどまった。専門家は検証結果報告で「DV加害者より孤立させられやすく、虐待が深刻化しやすい可能性がある。家庭における『支配者』と『被支配者』という関係性を念頭に支援すべきだ」と指摘している。

10代での妊娠・出産経験の分析では、DVありの人では60.8%、DVなしでは32.0%と差が際立つ。子ども死亡時の実母の年齢も低かった。一方、虐待の通告や児童相談所の関与は、DVありの方が多く、DVなしの方が少ない。効果的な広報を検討して、広く情報提供してもらい、容疑者を検挙できればと期待している。

【共同】ヤフリーなどデジタル関連3社は、警察庁指定の重要指名手配容疑者のうち5人の現在の姿を人工知能(AI)を用いて予測し、特設サイト「TEHA」で30日公開した。「情報提供」をクリックすると捜査本部のある都県警のサイトへ移動する。12月まで他2社は電通デジタルとPARTY。顔写真のAIが、警察庁から提供された容疑者の写真に基づき、老化したり体形が変わったりした9パターンを予測した。

5人は1998年に群馬県高崎市(旧群馬町)で起きた1家3人殺害事件の小暮洋史容疑者(51)、2005年に東京都三鷹市で起きた男性殺害事件の土地恵栄容疑者(64)、08

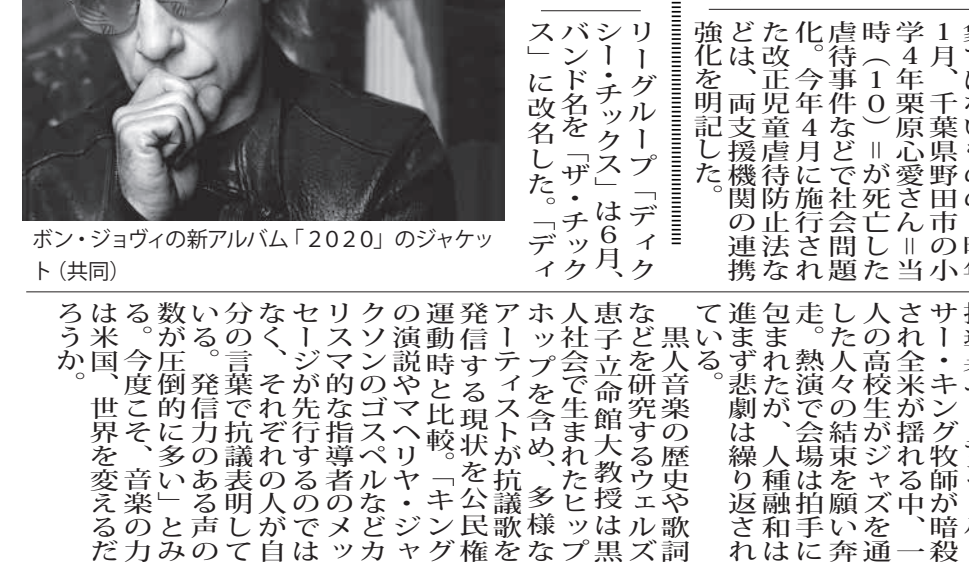
【共同】厚生労働省の専門委員会は30日、2007年1月〜18年3月に発生・発覚した中以外の児童虐待死亡事例に、死亡した児童の実母へのドメスティックバイオレンス(DV)の有無に焦点を当てた詳細な分析結果を初めて公表した。検証可能な死亡事例270人のうち、実母がDVを受けていたのは51人(18.9%)。この家庭の地域社会との

【共同】厚生労働省の専門委員会は30日、2007年1月〜18年3月に発生・発覚した中以外の児童虐待死亡事例に、死亡した児童の実母へのドメスティックバイオレンス(DV)の有無に焦点を当てた詳細な分析結果を初めて公表した。検証可能な死亡事例270人のうち、実母がDVを受けていたのは51人(18.9%)。この家庭の地域社会との

【共同】白人警官らの黒人への暴力事件が相次ぎ「ブラック・ライブズ・マター」運動に揺れる米国内で、黒人歌手のアリシア・キーズがシングル「パーフェクト・ウェイ・トゥ・グ」を発表し、この秋発売のアルバムに収録される。大統領選挙を控える中、黒人解放闘争を象徴する「今」が混迷する米国の「今」がうかがい知れる曲ぞろいだ。

5月末に中西部で警官

【共同】白人警官らの黒人への暴力事件が相次ぎ「ブラック・ライブズ・マター」運動に揺れる米国内で、黒人歌手のアリシア・キーズがシングル「パーフェクト・ウェイ・トゥ・グ」を発表し、この秋発売のアルバムに収録される。大統領選挙を控える中、黒人解放闘争を象徴する「今」が混迷する米国の「今」がうかがい知れる曲ぞろいだ。



ボン・ジョヴィの新アルバム「2020」のジャケット(共同)

【共同】白人警官らの黒人への暴力事件が相次ぎ「ブラック・ライブズ・マター」運動に揺れる米国内で、黒人歌手のアリシア・キーズがシングル「パーフェクト・ウェイ・トゥ・グ」を発表し、この秋発売のアルバムに収録される。大統領選挙を控える中、黒人解放闘争を象徴する「今」が混迷する米国の「今」がうかがい知れる曲ぞろいだ。

【共同】白人警官らの黒人への暴力事件が相次ぎ「ブラック・ライブズ・マター」運動に揺れる米国内で、黒人歌手のアリシア・キーズがシングル「パーフェクト・ウェイ・トゥ・グ」を発表し、この秋発売のアルバムに収録される。大統領選挙を控える中、黒人解放闘争を象徴する「今」が混迷する米国の「今」がうかがい知れる曲ぞろいだ。



東証 全売買を終日停止

システム障害で初

世界でも異例 名古屋、札幌、福岡も

【共同】日本取引所グループ（J-PTX）傘下の東京証券取引所は1日、システム障害が発生したため、株式全銘柄の売買を終日停止した。午前9時の取引開始から全ての取引ができなかった。東証が売買を終日停止するのは初めてで、世界でも異例。信頼低下は避けられず、日本を国際金融センターにする政府構想にも大きなマイナスとなりそうだ。東証のシステムを利用する札幌、名古屋、福岡の証券取引所も1日、株式全銘柄の売買を終日停止した。大阪取引所などの先物取引は通常通り実施された。

2日取引再開の予定

【共同】日本取引所グループ（J-PTX）傘下の東京証券取引所は1日、システム障害が発生したため、株式全銘柄の売買を終日停止した。午前9時の取引開始から全ての取引ができなかった。東証が売買を終日停止するのは初めてで、世界でも異例。信頼低下は避けられず、日本を国際金融センターにする政府構想にも大きなマイナスとなりそうだ。東証のシステムを利用する札幌、名古屋、福岡の証券取引所も1日、株式全銘柄の売買を終日停止した。大阪取引所などの先物取引は通常通り実施された。



システム障害が発生し、株式全銘柄の売買停止で株値の表示が消えた東京証券取引所のボード=1日午前10時19分、東京・日本橋兜町（共同）

東証の宮原幸一郎社長は1日記者会見し、「投資家の皆さまに多大な迷惑をかけたことを深くおわびする」と謝罪。システムを運用するハードウェアの故障が原因で、機器を交換し2日朝から通常通り取引を再開する予定としている。金曜日は1日、金融商品取引法に基づく報告徴求命令を近く出す方向で

衆院解散、年内見送り公算

首相、コロナと経済優先

臨時国会26日召集へ

【共同】菅義偉首相が年内の衆院解散・総選挙を見送る公算が大きくなった。首相は新型コロナウイルスの感染拡大抑制と経済再生の両方を優先する。複数回の臨時国会は26日に召集する方針で、50日間の衆院会期を見込む。論議を通じて支持を引き付けたい考えだ。首相の自民党総裁任期は来年9月30日。国会審議や野党の動向を踏まえ、与党が確実に勝利を収めることを目指す。慎重姿勢を示す。慎重姿勢を示す。慎重姿勢を示す。

東京GOTOスタート

平日分散利用どう促進

【共同】政府の観光支援事業「GOTOトラベル」の対象に1日、東京発着の旅行が追加された。秋の行楽シーズン本格化を前に、新型コロナウイルス感染症の回復に期待がかかる。また、年末まで連休が少なく、平日の分散利用促進が課題となる。一方、1日始まった地域共通クーポンが、地元店舗だけでなく大手全客店チェーンでも使えること

【共同】政府の観光支援事業「GOTOトラベル」の対象に1日、東京発着の旅行が追加された。秋の行楽シーズン本格化を前に、新型コロナウイルス感染症の回復に期待がかかる。また、年末まで連休が少なく、平日の分散利用促進が課題となる。一方、1日始まった地域共通クーポンが、地元店舗だけでなく大手全客店チェーンでも使えること



羽田空港の国内線出発ロビーを歩き交う人たち=1日午前

河野氏、行政手続き巡り

【共同】河野太郎行政改革担当相は1日、報道各社のインタビューで、行政手続きでの「はんこ」使用を巡り、少なくとも9割超が廃止できる見通しだと明らかにした。各府省で確認できた手続き約800のうち、765は押印の廃止が可能との回答を得たと説明。「印鑑を押す行為をなくせば、利便性が上がる」と強調した。河野氏は9月24日、はんこ使用の現状や継続理由などについて同月末までに回答するよう府省に要請していた。

日本プロ野球順位表（共同）

Table with 4 columns: Team, Wins, Losses, Points, Difference. Lists teams like Nippon Ham, DeNA, etc.

Advertisement for Nikkei Shimbun (JORNAL NIKKEI SHIMBUN) with contact information and subscription rates.

Advertisement for ENKYO (協賛月報 649号) with details about the association and contact information.

Advertisement for Sanpauro (サンパウル日伯援護協会) with details about the association and contact information.